

第10回

基礎生物学研究所・バイオリソース研究室・助教

安齋 賢 先生

メダカ科魚類における性的二型の多様化の分子基盤

性的二型は様々な生物で広く観察されるが、時に近縁種間であっても急速に多様化する。しかしながら、性的二型の多様化を引き起こす遺伝機構については、その原因遺伝子・変異を同定した例が少なく、依然不明な点が多い。インドネシア・スラウェシ島のメダカ科魚類固有種群は、体色やヒレ形態などのいくつかの形質について顕著かつ多様な性的二型を示すことから、性的二型の多様化メカニズムを解明する優れたモデル系である。我々は最初に、雄が赤い胸鰭および青い体側という鮮やかな体色を持つ *Oryzias woworae* に着目し、その原因遺伝子・変異の同定を目指している。本講演では、QTLマッピングやRNA-seqから同定した胸鰭の赤色に関わる遺伝子に関する解析結果を中心に、本研究の現状を紹介したい。



Oryzias woworae 種群のオス

(Yamahira et al. 2016から一部改変; Photos by N. Hashimoto)

7月25日 (水) 15:00-17:00

琉球大学 亜熱帯島嶼科学拠点研究棟 3F 会議室

皆様のご来聴を歓迎いたします。 ※ ご参加・聴講は自由です (事前申し込み不要)

お問い合わせ先：熱帯生物圏研究センター 矢口甫 hjiroo@gmail.com

主催：戦略的研究プロジェクトセンター ゲノミクス解析支援チーム